

令和6年度福祉部会第3回研修会 報告

日 時：令和7年2月24日（月・祝）14:00～16:30

方 法：対面およびオンライン（後日、講演部分のみオンデマンド配信）

会 場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 1309 会議室

参加者：対面 18名、オンライン 16名 計 34名

テーマ：小児の摂食嚥下の機能と発達について学ぶ

講 師：日本福祉大学 教育・心理学部教授 中嶋理香氏

公認心理師の資格をもつ言語聴覚士の中嶋先生より、小児の摂食嚥下機能の発達について、機能的な面だけでなく文化的、社会的および栄養摂取という包括的な概念により支援する方法があり、多職種で関わる必要があるとお話があった。また、ライフステージにより課題が変わってくること、それらの課題をプロセスとして多面的に考えて行く必要があることを学んだ。その上で「食べる機能」を5期モデルに分けて考え、それぞれにどんな認知能力との関わりがあるのか、どこにつまづきがあるのかを読み解くヒントをいただいた。最後に、先生が携わった症例を示してくださり、さらに実践場面での対応についても学ぶことができた。



休憩をはさみ、グループに分かれて事前に参加者にお知らせしていたテーマおよび職場での困りごとについて話し合った。各班でそれぞれの立場からの意見が交換でき、新しい発見が多くできたとの意見が聞かれた。アンケートでは「他職種の先生からの話は新しい情報が多く有意義だった」、「食べるだけでなく姿勢や運動能力、生理的な問題も重要だと気づいた」などと書かれていた。



今後の要望として「多職種連携のための働きかけかた」や「面談、食育計画、成長曲線の活用方法」などがあったため、来年度以降の参考としたい。

最後に、資料のダウンロードが遅くなってしまいご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

（報告者：伊藤日奈子）